

# Asm87 アセンブラー

## 実行方法

コマンドプロンプトで実行します。

asm87 CPU オプション ソースファイル名

## CPU オプション

-7801 または省略	μ PD7800～μ PD7802 命令セット(IN, OUT は未対応)
-7805	μ PD78C05, μPD78C06 命令セット

## コメント

セミコロンから行末まではコメントとなります。

## 定数

10 進定数	1 つ以上の 0~9
16 進定数	0~9 で始まり 0~9 または A~F と末尾の H または\$で始まり 0~9 または A~F
文字定数	シングルのまたはダブルクォーテーションで囲まれた文字

## シンボル

シンボルに使える文字はアルファベットと\_ . ? @です。2 文字目以後は数字も使えます。

## 演算子

以下の演算子を使用できます。

### 単項

+	正符号
-	負符号
HIGH	上位バイト
LOW	下位バイト
NOT	反転(1 の補数)

### 二項

+	加算
-	減算
*	乗算
/	除算
MOD	剰余
SHL	左シフト
SHR	右シフト
AND	論理積
OR	論理和
XOR	排他的論理和

優先順位は以下の通りです。

優先順位	演算子
1	<b>*, /, MOD</b>
2	<b>+, -</b>
3	<b>SHL, SHR</b>
4	<b>AND</b>
5	<b>OR, XOR</b>

疑似命令

INCLUDE	他のファイルを挿入します。
PUBLIC	シンボルを他のモジュールから参照可能にします。
EXTERN EXT	他のモジュールのシンボルを参照します。
CSEG	この命令以後をコードセグメントに配置します。
DSEG	この命令以後をデータセグメントに配置します。
EQU	定数を定義します。
DEFB DB	バイト定数配置します。
DEFW DW	ワード定数配置します。
DEFS DS	メモリ領域を確保します。

独自機能

複数命令

|で区切ることで、1行に複数の命令を記述できます。

構造化命令

IF-ELSE-ENDIF

記述	機能
IF スキップ命令 ブロック 1	スキップが成立すればブロック 1、成立しなければブロック 2 を実行します。ブロック 2 は省略可能です。
ELSE ブロック 2	
ENDIF	

## DO-WHILE-WEND

記述	機能
DO ブロック 1 WHILE スキップ命令 ブロック 2 WEND	ブロック 1 を実行し、スキップが成立する限りブロック 2 を繰り返します。

## DO-REPEAT

記述	機能
DO ブロック スキップ命令 REPEAT	スキップが成立するまでブロックを無限ループします。

## LinkLE リンカー

### 実行方法

コマンドプロンプトで実行します。

linkle 出力ファイル名 コードセグメントアドレス データセグメントアドレス オブジェクトファイル名...

セグメントアドレスには、4000-4fff,2000 のように複数範囲を指定できます。

拡張子の指定により、出力ファイルの形式は以下ようになります。

拡張子	形式
CMT	PC-8001 エミュレーター用
P6	PC-6001 エミュレーター用(ローダー付き)
MZT	MZ エミュレーター用
CAS	MSX エミュレーター用
RAM	PASOPIA エミュレーター用 RAMPK2
PRG	JR-100 エミュレーター用
CJR	JR-200 エミュレーター用
L3	ベーシックマスターレベル 3 エミュレーター用
CAS	MSX エミュレーター用
T64	Commodore64,VIC-20 エミュレーター用
HEX	インテル HEX フォーマット
S	モトローラ S レコードフォーマット
上記以外	コードセグメントの内容そのまま(アドレス情報なし)